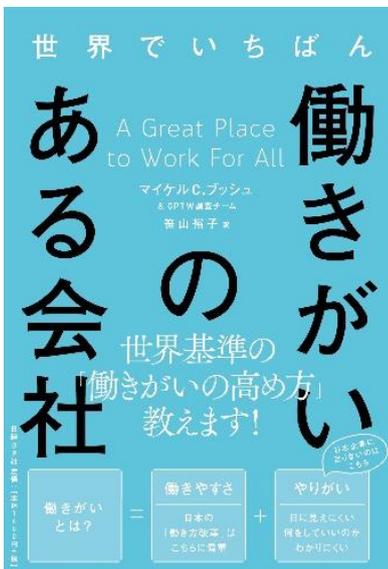


【新刊のご案内】 <9月6日発売> 『世界でいちばん働きがいのある会社』

日本の「働き方改革」はまだまだ甘い？ 世界基準の「働きがいの高め方」教えます！

「働きがい」に関する調査・分析を世界 50 カ国以上で実施している専門機関 Great Place to Work® Institute(以下 GPTW)の CEO、マイケル・C・ブッシュの著書『世界でいちばん働きがいのある会社』の日本版(日経 BP 社)が9月6日(火)より発売されます。日本版特別章として、Great Place to Work® Institute Japan(以下 GPTW ジャパン、本社:東京都品川区)の代表取締役社長 岡元利奈子が執筆した「日本の働き方改革の光と影」を収載しています。

書籍紹介・書評・インタビュー(日本版特別章執筆:GPTW ジャパン代表 岡元利奈子)をご検討いただくと幸いです。



■書籍概要

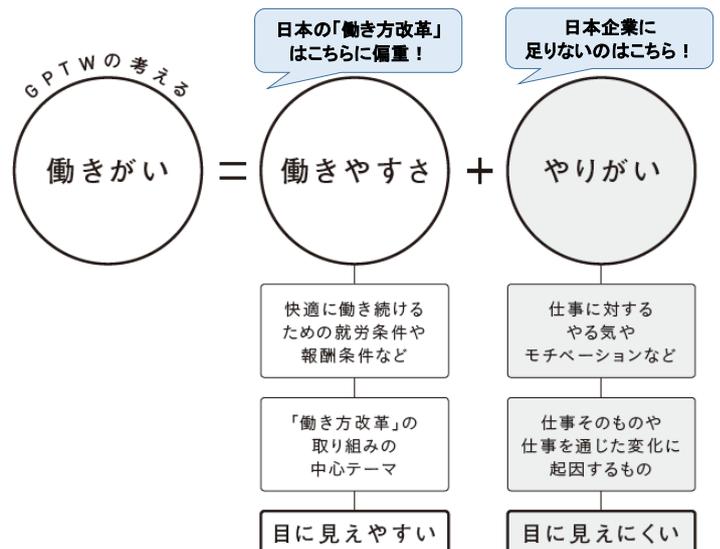
「働きがいのある会社」に関して世界 50 カ国以上で調査を行う GPTW が、20 年以上にわたって蓄積したデータを徹底分析。真の「働きがいのある企業文化」と、その担い手である「全員型リーダー」を創る方法を指南！

著者が CEO を務める GPTW は、米国では「FORTUNE」誌の「働きがいのある会社 100」の調査元として知られています。「働きがい」は目に見えにくいものですが、GPTW ジャパンでは「働きがい」=「働きやすさ」+「やりがい」と定義しています。「働きやすさ(オフィス環境や就業時間)」は目に見えやすいため改善しやすく、日本企業の働き方改革もここに取り組み企業が多い一方、「やりがい」に関しては見えにくいこともあり、なかなか手が付けられていない状況です。

世界で6,000社以上の企業とそこで働く400万人以上の従業員を調査・分析したデータに基づき、本書では、世界レベルの「働きがいのある会社」とそれを率いる「全員型リーダー」のつくり方を指南。また、日本語版特別章として、日本の実情に合わせて執筆した「日本の働き方改革の光と陰」を収載しています。

<本書の特徴>

- ◆ 曖昧な「働きがい」を見える化し、企業に何が足りないかを明確に指摘
- ◆ 一部の仕事のできる社員だけでなく、全社員の「働きがい」を高め、全社員の潜在能力を高める方法を伝授
- ◆ 日本版特別章「日本の働き方改革の光と陰～世界標準に足りないものとは～」を収載



書名: 『世界でいちばん働きがいのある会社』	発行: 日経 BP 社	価格: 1,600 円 + 税
著者: マイケル C. ブッシュ & GPTW 調査チーム	発売: 日経 BP マーケティング	仕様: 四六判、272 頁
訳者: 笹山 裕子	発売日: 2018 年 9 月 6 日	



■著者プロフィール

マイケル・C・ブッシュ Great Place to Work® Institute (GPTW) CEO

GPTW の CEO。GPTW は、高信頼・高実績の職場文化についての世界的権威であり、50 カ国以上にオフィスを構えている。「働きがいのある会社」とはどんなものであるのかについて従業員の経験を中心に徹底的な調査を行う。2015 年に GPTW に参加するまでは、自らが創業したオンライン学習組織エイト・ファクターズの社長、クラーク・サステイナブル・リソース・ディベロップメントの CEO、年商 4000 万ドルから 3 億ドルへと育てたテトラ・テック・コミュニケーションズの CEO を歴任。



<日本版特別章> 執筆者プロフィール

Great Place to Work® Institute Japan (GPTW ジャパン)

株式会社働きがいのある会社研究所

代表取締役社長 岡元 利奈子 (おかもと りなこ)

人事測定研究所(現リクルートマネジメントソリューションズ)入社。人事コンサルタントとして、人事制度設計や従業員意識調査などを行う。その後海外現地法人のコンサルティングビジネスの立ち上げ支援などを経験し、2014 年より現職。

<目次>

序文	モチベーションのさらなる理解のために ダン・アリエリー(心理学者・行動経済学者)
はじめに	働きがいのある会社 10 年か 20 年前であれば「働きがいのある会社」と見なすのに十分だった条件も、今や十分ではなくなっている。組織が生き残り、繁栄するためには「全員型働きがいのある会社」を築かなくてはならない。
パート1 ビジネスのために	
第1章	売り上げも、利益も増える 「全員型働きがいのある会社」はビジネスをより良いものにする。常に高い信頼が保たれている文化は、ビジネスで成功するために不可欠なものになりつつある。
第2章	新しいビジネスフロンティア 社会とテクノロジーの変化により、新しいビジネスの方法が求められる。
第3章	ビジネスフロンティアで成功する 重要なのは、リーダーシップの有効性や価値観、信頼を通じて、働く人の潜在能力を最大化することだ。これが正しくできていけば、イノベーションと財務面の成長は自然についてくる
第4章	人の潜在能力の最大化が業績を伸ばす 従業員の職場経験のギャップを埋めることが、売り上げの増加、株価の上昇、従業員の定着など、経営の向上につながる。
パート2 人々のために、世界のために	
第5章	あらゆる人にとって働きがいのある会社 「全員型働きがいのある会社」では、すべての従業員が仕事に最善を尽くしつつ、健康で充実した生活を送ることができる。
第6章	より良いビジネスでより良い世界を 「全員型働きがいのある会社」は、公正で、思いやりに満ちていて、誰にでもチャンスがあり、繁栄の恩恵にあずかれる社会の構築に役立つ。
パート3 全員型リーダーに求められること	
第7章	「全員型働きがいのある会社」を率いる 効果的なリーダーシップについての最新の調査結果を基に、「全員型働きがいのある会社」の構築のためにリーダーがすべきことを明らかにする。
第8章	すべての人のためのロケット船 「全員型働きがいのある会社」をつくるのは大変だが、21世紀にはそれが主流となっていく。
日本版特別章★	日本の働き方改革の光と陰 ～世界標準に足りないものとは～ (GPTW ジャパン代表 岡元利奈子)

第3章 ビジネスフロンティアで成功する (抜粋)

企業が直面している新しい環境では、社会とテクノロジーの変化によって、20年前にはすばらしかったことが、もはやそうでもなくなっている。

(中略) では、新しいビジネスフロンティアで成功するのに必要なものは何か。重要なのは、リーダーシップの有効性、価値観、信頼を通じて、働く人の潜在能力を最大化することだ。これが正しくできていれば、イノベーションと財務面の成長は自然についてくる。この六つの要素がすべて組み合わさったものが、「全員型働きがいのある会社」の姿だ。本章では、それぞれの要素が何を意味し、現在のビジネスの課題に各要素がどのように役立ち、互いに効果を及ぼし合うのかを詳しく見ていく。成功を持続させるには、多くのリーダーが考えている以上のことが求められる。その数は、かつて私たちが想定していたよりもずっと多い。

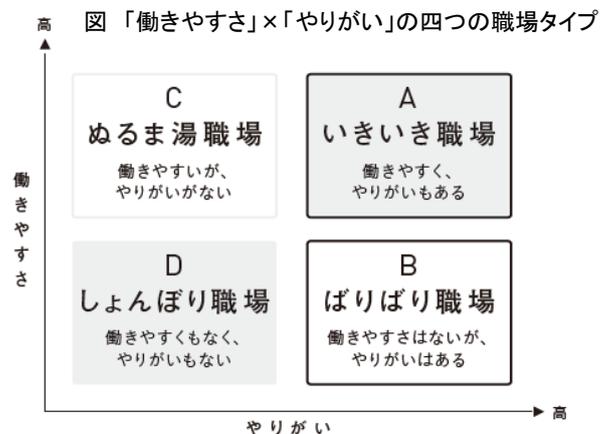
図 「全員型働きがいのある会社」の姿



★ 日本版特別章

日本の働き方改革の光と影 ~世界標準に足りないものとは~
(GPTW ジャパン 岡元利奈子)

- 「働き方改革」がもたらしたメリット
- 「働き方改革」で見落とされている「働きがい」
- 従業員と会社の二つの視点による「働きがい」の定義
- 世界標準には遠い日本の「働きがい改革」
- 働きがい改革の成功に向けた五つのヒント
- 日本らしい「働きがいのある会社」の姿 など



様々な企業の調査結果を見ると、「働き方改革」の結果、「働きやすさ」は確かに上がったが、従業員の仕事に対する「やりがい」はむしろ下がり、総合的な「働きがい」は改革前よりも下がってしまったというケースも珍しくない。

私たちは、「働きやすさ」と「やりがい」の高低により、職場を四つのタイプに分類している。働きやすくやりがいも高いのが「A いきいき職場」、働きやすさは低いがやりがいがあるのが「B ばりばり職場」、働きやすいがやりがいがないのが「C ぬるま湯職場」、働きやすさもやりがいもないのが「D しょんぼり職場」と定義した。これに基づいて、今の「働き方改革」のムーブメントを考えると、何が起きているのかを把握しやすいと思う。

(「働き方改革」で見落とされている「働きがい」より抜粋)

<当機関について>



Great Place to Work® Institute は、世界約 50 力国で、「働きがいのある会社」を世界共通の基準で調査・分析し、各国の有力メディアでランキングを発表しています。米国では、1998 年より「FORTUNE」を通じて毎年発表されており、「働きがいのある会社」ランキングに名を連ねることが、「一流企業の証」として認められています。

GPTWの歩み

日本においては、株式会社働きがいのある会社研究所が Great Place to Work® Institute よりライセンスを受け、Great Place to Work® Institute Japan (GPTW ジャパン) を運営しています。

1991	米国で Great Place to Work® Institute 設立
1998	最初のランキングが「フォーチュン」誌に紹介
2007	日本で最初のランキングが「日経ビジネス」に紹介
2011	世界ランキング(多国籍企業) を初めて発表
2018	日本における12回目のランキングを発表

※詳細はこちらをご覧ください⇒

<https://hatarakigai.info/about/history.html>

【本件に関するお問合せ】

Great Place to Work® Institute Japan (株式会社 働きがいのある会社研究所)

広報サポート (株)アネティ 真壁・岡崎

TEL: 03-6421-7397 FAX: 03-6421-7398 E-mail: gptw@anety.biz